

## 第6次江南市総合計画（案）に関する住民説明会における意見、質問について

平成29年7月22日（土）～8月3日（木）に市内5会場で計6回、住民説明会を開催しましたところ、延べ461人の方にご出席いただきました。

多くの方々からいただきました貴重なご意見、ご質問について、その主な内容をお知らせします。

※ 文中の、（問）は、説明会に参加された方々からのご質問、（答）は、ご質問に対する市の説明内容です。また、（意見）は、参加された方々からのご意見です。

### 1. 総合計画序論に関する意見、質問

#### ○計画の構成について

（問） 基本計画案は目標が目標でないという感じがしました。今後作られる実施計画案について、目標が市民に伝わるように住民説明会などを開催してもらいたいです。【すいとびあ江南】

（答） 実施計画では項目が多くなりますので、ホームページにて公開しています。住民説明会のような会議でご意見をいただくことはしていませんが、機会を設けることができましたらお知らせします。

（問） 10年後の目標やビジョンはたくさん提供していただいたが、それに向けて具体的などのような方法や手段をとっていくのかという説明が少し欠けていたため、実現できるのか少し不安になりました。市民としては、不安を払拭するために情報を収集する手立てがあれば、どういった方法があるのかお聞きしたいと思います。【宮田学供】

（答） 住民説明会では、総合計画の基本構想と基本計画について大きく説明しました。実際に行う事業については、実施計画として毎年2月頃にホームページ等に掲載していきます。

（問） 総合計画ということで、沢山の柱が立てられており、柱を中心として事業が行われていくようですが、総合計画は市長がもし変わっても江南市が中心となり10年間行っていくものだと思います。約30の柱を一気にこの10年間でやってしまうとする理由がわかりません。もう少し分割して進めることができるのではないかと考えますが、あえて同時に進めるという理由をお聞きしたいと思います。【宮田学供】

（答） すべて同時に進行するわけではなく、序論にあります「計画の構成」の中で基本計画は前期6年、後期4年ということで、市長の任期や進捗状況に合わせて計画の見直しをします。実際に行う事業を記載する実施計画は、翌年度以降の3年間分の事業計

画を示し、毎年度見直しながら、事業の優先度を勘案して進めていきます。

(意見) 資料を見ると、10年後のすがたに向けて行政が何をしていかなければいけないのかという構成になっている。行政としては、10年先までの行程を出していると現実的なものとして捉えられます。その状況を広報に載せてもらえると、市民も理解できます。

集中豪雨があり、犬山や扶桑は浸水がありました。自然災害については1年、2年では対策ができないと思いますので、財政の問題はあると思いますが、今後数年の行程を出してもらい、具体的にどう取り組んでいくのか示してほしいと思います。【宮田学供】

## 2. 総合計画基本計画に関する意見、質問

### ○目標フレームについて

(問) 基本計画の目標フレームでは、財政収支が厳しくなり、人口も減少するということがありますが、市として周辺自治体との合併は考えていないのですか。【すいとぴあ江南】

(答) 合併については、過去には周辺市町と協議をし、進めていく意向がありましたが、それぞれの立場の違いというものが出てきました。合併の最大の利点は、スケールメリットだと思いますが、平成の大合併の中でも、様々な問題点が露呈しています。現在は、江南市が持てる全力で市の事業を行っていくということで、具体的な話は出しておらず、事務レベルにおいても、協議会や勉強会は持ち合わせていません。

(問) 人口減少と言われていますが、増やすという発想はないのですか。人口が減ってくると税収も減ってしまい、こうした立派な計画も進めていくことが出来なくなるのではないのかと思います。【市民文化会館（7/30）】

(答) 総合計画では人口減少を抑制するよう、子育て支援、まちづくりなどを進めていく計画となっています。

(問) 人口を増やすということは考えていないのですか。他市町から人口を流入させることは考えていないのですか。【市民文化会館（7/30）】

(答) 人口増加に関しまして、一般的に特効薬は無いと言われていますが、対策をしなければ、消滅可能性都市になりかねません。そのため、企業誘致や若い人に住んでもらうための施策に取り組み、今後いかに江南市に住んでいただけるかということを検討していきたいと思っています。

(問) 市民が減っていく前提で考えられているようですが、市を大きくしたいのか、それ

とも将来を考えると小さい市としていくのか。また、社会が高齢化していくので、住みよいまちにしようではないかとなっても、予算が必要となってきます。

目標フレームにおける財政の表をみると、歳入の部分で平成 29 年度に比べ平成 35 年度に市債が極端に減っています。一方で公債費は増えています。平成 35 年度は約 26 億円市債の返済があり、借り入れの方は約 17 億円という理解でよいですか。【宮田学供】

(答) 人口減少に対して、受身でいるというわけではありません。序論にありますとおり、江南市の魅力をいかに向上し、市として持続的に発展するかということを考えています。全国的に人口減少の問題があり、愛知県は他の県より極端に人口が減少するわけではありませんが、この問題に取り組んでいかなければなりません。市長の方針は、各市町村間の人口の取り合いではなく、子育てをしっかりと充実して子育て世代の満足度を高め、子どもを増やす事で、人口の維持をしていくことを目指しています。どうしても人口は減少傾向にありますが、対策を取っていきたいと考えています。

また、市債の借入予定額は、平成 29 年度は 34 億 4,500 万円、平成 35 年度は 17 億 8,400 万円です。平成 29 年度は特殊要因として、新体育館を建設しており、新体育館にかかる市債は約 18 億円を予定しています。そして、その借入分の返済が後年度に出てまいりますので、その分、公債費が増えています。

(問) 財政の歳入について、人口減少により自主財源が平成 29 年度と平成 35 年度でもっと減ると思いましたが、あまり減っていないので、大丈夫なのかという気がしました。また、自主財源のその他のところで、平成 29 年度から平成 35 年度を比較しますと、かなり増えています。増加した理由について、具体的な内容をお願いします。

もう一つは、依存財源ですが、市債は平成 29 年度から平成 35 年度になりますと、かなり下がっており、財政上こんなに少なくて大丈夫なのかという感じがしましたので、理由を教えてくださいと思います。【市民文化会館（7/30）】

(答) 平成 29 年度の予算ベースを基準にしており、人口フレームの 15 歳から 64 歳までの生産年齢人口の減少見込みを考慮して推計をした結果が、この表のとおりです。自主財源の中のその他については、平成 29 年度 23 億 800 万円、平成 35 年度 27 億 9,600 万円、そして平成 39 年度に向けて少し増えているような状況です。主な理由としまして、毎年度の繰越金です。平成 29 年度の予算ベースを基準として、過去の実績を考慮し、もう少し繰越金をみてもいいと判断し、平成 35 年度に少し伸ばしたという推計です。

市債については、平成 29 年度に、新体育館の建設に係る市債として、約 18 億円を予定しています。そのため、平成 29 年度は約 34 億円としていますが、その後はできるだけ借入を必要最小限に抑えていこうという推計です。

○市長の戦略政策について

(問) 市長の戦略政策の1つに江南駅前の利便性向上があります。いつ頃までにどのような内容でどう進めていくのか教えてください。

また、市長の戦略政策の明記と数値目標の管理と書かれていますので、10年かけて全てやる訳でなく早く進める事業、長期の事業と分かれていくと思いますが、詳細な計画は今後発表されるのですか。【市民文化会館（7/30）】

(答) 江南駅については、布袋駅東の開発や新ごみ処理施設のこともあるので今すぐ取り組むことはできませんが、布袋駅付近の開発の事業効果や、地域による活性化案など地域の声を反映させて中心拠点のインフラ整備を進めていくという、長期的な展望で進めていきたいと考えています。

また、詳細な計画につきましては、毎年、翌年度以降の3年間分の事業を実施計画として公表してまいります。

(問) 生産年齢人口の確保が重要だと考えています。特に20歳から30歳の人たちの社会増を図る必要があります。江南市の良いところは名古屋駅へのアクセスのよさ、災害リスクの低さだと思います。名古屋駅は再開発が進んでおり、リニアも接続されるため、活気が出ています。名古屋駅近郊で働く人たちに江南市に住んでもらうことを勧めてほしいと思います。岩倉市や北名古屋市も条件は似ていますが、子育て世代で名古屋へ通う人をターゲットとして施策を考えていただきたいです。また、駅前の高度利用の取り組みや子育て支援を充実させてください。【市民文化会館（8/3）】

(答) 対策をしないと、人口は減っていきます。2040年には、半数の自治体が消滅する可能性があるという推計もされています。近隣との差別化は大切です。さらに自治体同士が共同して人口を増やすことが理にかなっていると考えています。昨年からはシティプロモーションにより、犬山線沿線の自治体とPRを進めています。また、企業誘致も進めているほか、布袋駅東のまとまった土地に行政として子育て支援のための施設を建設することで、賑わいと人の流れをつくるための調査も進めています。人を呼び込む仕掛けをつくりたいと思っており、名古屋駅に近く、地盤がいため、決して他に負けない地域だと思っていますので、自信を持って進めたいと考えています。

(問) 市長自らがトップセールスを行われている、企業誘致に関して、進捗状況を教えてください。【古知野西公民館】

(答) 現在推進している企業誘致につきましては、市が工業団地を造成して企業を募集する手法ではなく、都市計画法第34条第12号に基づく条例を制定し、市街化調整区域の一部（安良区域）で工場を造れるよう規制を緩和することにより進めているところです。現在のところ、新たに誘致が決定した事例はありませんが、多くの企業から問い合わせがあり、市としましてはそういった企業に対し、地権者の売却意向に関する

情報提供を行うなどのサポートをしています。また、安良区域は市街化調整区域ですので、農振除外や農地転用といった手続きが必要となる所もありますが、既にそういった手続きを一部進めている企業も出てきていますので、そのような企業には市長自らが、トップセールスとして企業訪問をしています。

(問) こうなん健康マイレージ事業の推進とは、どのような内容ですか。【市民文化会館(8/3)】

(答) こうなん健康マイレージ事業とは、自分自身の健康を増進するための施策で、簡単に言うと健康増進の取り組みに応じてポイントが貯まり、優待カードと記念品をお渡ししているという、健康づくりを推進する事業です。在住、在勤、在学の方を対象に市役所や保健センターなどでポイントカードを渡しています。

#### ○分野別計画全般について

(意見) 資料には、分野別計画におけるそれぞれの柱の目標が「何々の推進」というように書かれてものが多いが、各分科会の会長による説明内容は、手段や実施事項になっており、やること自体が目的になっているように感じました。方向性が変わらないよう、注意して進めてほしいと思います。【すいとぴあ江南】

(問) 分野別計画毎の目標は、何でもやっていけるというわけではないと思いますし、異なる分野別計画毎でお互いの記載内容に矛盾が生じているように感じますが、誰が調整するのですか。【すいとぴあ江南】

(答) 市にはいろいろな計画がありますので、幹部の会議の場を活用しながらバランスをとって進めていきたいと思います。

### 【I まちづくり分野】

#### ○柱3 にぎわいあるまちづくりの推進について

(問) 個別目標③では、「市民の足が確保できている」という目標があります。江南市では交通網の整備ができていないことが引っ越ししたい人を多くする原因になっていると思います。コミュニティバスなど、駅や施設に行きやすい手段を確保することを計画的に行わないと、人口減少がこのまま進むと危惧しています。

特に江南駅の周りは駐車場ばかりで人がいないので、市の中心をどうするのかを具体的に考えて、そこに集まる足をどうするのか、1年、2年先ではなく10年先を考えて、特にコミュニティバスなどを検討してほしいと思います。【すいとぴあ江南】

(答) 足の確保については、いこまいCAR、路線バスを確保していますが、コミュニティバスという要望もあります。コミュニティバスについて他市町に聞くと、負担にな

っているという意見をお聞きします。あった方がいいか、なかった方がいいかとお聞きすると、皆さんはあった方がいいとお答えになります。やってほしいという意見でやり始めますが、実際には、乗っていただけない。バス停から周囲何百メートルの人しか乗っていただけないというデータがはっきり出ています。税金を投入し、皆さんの負担になる話なので、簡単には導入できないと思います。いこまいCARの制度は究極の制度だと思えます。料金や利用方法などの問題は、検討課題の一つですが、足として確保されています。コミュニティバスには、多大な税金が使われることをご理解いただきたいと思えます。総合計画の中でお示しをしているコンパクト・プラス・ネットワークという考え方は、中心拠点や地域拠点を核として、拠点間を繋ぐような足の確保を考えています。いこまいCAR、路線バス以外のネットワークについては、検討部会を立ち上げて、検討しています。

(問) 人口増加策として、江南市に住んでもらうためには、家を建てやすいよう、土地を安くする必要があります。市街地を増やせば人口は増えると思えますがどのように考えていますか。【市民文化会館（8/3）】

(答) 市街化区域の拡大には計画的な都市基盤整備が必要ですが、特に住居系用途の市街化区域拡大は、人口減少が避けられない状況においては慎重に検討する必要があると認識しています。

江南市では、都市計画法第34条第11号の規定により、市街化調整区域であっても、基盤整備の状況などが一定の基準を満たした区域において、住宅建築が可能な区域を条例で定めており、今後も区域の指定について検討していきます。

(問) タウンバスの調査・検討については、市長の公約に位置づけられています。また、総合計画の調査では、公共交通の充実が重要度、緊急性も高い結果が出ていますので、実現を急いでください。

にぎわいづくりの拠点をつくるのも良いのですが、そこまで行く交通手段をつくってください。いこまいCARを見直し、通勤する人も利用できるような交通網の公共交通手段として、タウンバスを検討してほしいと思えます。【市民文化会館（8/3）】

(答) 公共交通については、平成23年度より検討を始めて、基礎調査を実施し、現在の体系でおおむね達成しているという結果でありましたので、現在の公共交通体系を維持していくという一定の結論を出しました。現在のいこまいCARは、料金のことを除けば究極の手段だと考えています。以前いこまいCAR定期便がありましたが、乗ってもらえませんでした。ボランティアの方が運転をするなどの手法など、地域の人たちとも知恵を出し合って進めていきたいと考えています。コミュニティバスを否定するわけではありませんが、路線バスや、いこまいCARの活用策を検討するよう新たに検討部会を立ち上げ、皆さんの意見をふまえて検討しています。

○柱4 生活にゆとりとうるおいを生む公園緑地推進について

(問) 江南市は公園緑地が非常に少なく、10年後も少ないだろうと考えています。農地の耕作放棄地がたくさんありますので、活用して公園緑地を増やしてほしいのですが、市の考えをお聞きしたいと思います。【すいとびあ江南】

(答) 江南市における一人あたりの都市公園の面積は、全国的にも近隣市町と比較しても低い状況です。木曾川沿いには大規模な公園が点在していますが、市街地には中央公園のみの状況であるため、今年度から策定する「緑の基本計画」の中で、市街化区域内での生産緑地の活用も検討しながら、市街地における公園整備の具体的な方針を示していきたいと考えています。

○柱7 浸水被害のないまちづくりの推進について

(問) 最近五条川が氾濫したということで、マスコミにも取り上げられました。青木川では、布袋の大仏の前の辺りにある名鉄の陸橋のあたりは急に狭くなっています。上も下も整備されていますが、陸橋の付近が土になっていて低くなっており、陸橋の部分が狭くなっていますので、水のおりが悪くなっています。川の中にも泥がたまっている状況で、あの辺りが青木川では最も危ないと思いますので、治水はどうなっているのかをお尋ねします。【布袋ふれあい会館】

(答) 鉄道橋梁部分の改修等については、河川管理者の愛知県と名古屋鉄道(株)との協議が必要と考えていますが、愛知県によりますと、ご指摘の箇所については、河川改修の計画はありますが、具体的な事業実施時期は、鉄道交差部より下流の江南市内や一宮市内の整備状況等を踏まえ判断していくと聞いています。今後、堤防の部分的な補修や河川内の浚渫・清掃などについては、江南市から愛知県へ要望していきます。

(意見) 先日、尾張北部で豪雨がありました。五条川が決壊することはありませんでしたが、広い地域に渡って浸水しました。『浸水被害のないまちづくり』は、青木川は進んでいると思いますが、五条川のことも考えていただきたいと思います。五条川流域も安心して住める計画にしてください。【市民文化会館 (7/30)】

## 【Ⅱ ひとつづくり分野】

○柱3 心豊かな子どもの育成支援の推進について

(問) 市長の戦略政策に「子育て世代・子どもの将来が輝くまちの実現」が入っていることは非常に心強く感じています。若い人に聞くと、保育内容の充実のほか、外で遊べない、ギューギュー詰めということが困るということです。

また、70歳以下の高齢者がいると利用できない。利用料が平成31年度に1人あた

り 6,000 円になると仕事にもいけないなどの声を聞いています。

子どもたちが育つ期間は、より良い環境で学んだり、友達と交流出来るような環境を整えていかなければいけないと思います。時代の流れで核家族化も進み、親が祖父母の力を借りて育児をするのではなく、子育て世代が自分の責任で育てられるようなまちづくりをしていけるといいと思いますので、料金や制度を考えていただきたいと思います。【市民文化会館（7/30）】

(答) 低年齢児の受入れや保育支援ということで、学童保育は6年生まで受け入れることを課題として進めています。学童保育の料金については、国の方針として行っています。市全体の使用料手数料の話もあり、公平性の原則を重視してやむを得ず利用者の方から適正な料金をいただくこととしました。今後は、就労状況などの条件に応じた料金体系というものなども、定期的に見直していきたいと思います。外で遊べないなどのスペースの問題は、財政面を考慮し、全体のバランスをみながら進めていきたいと思います。低年齢児の受入れは、0歳児から預け入れられる家族も増えてきており、0～1歳児をしっかりと預かり出来るようクッションフロアにするなどの整備も進めています。

#### ○柱4 生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備について

(意見) 新図書館のことについて、文化的な都市をめざすということが書いてあります。議会からも新図書館が必要であるという提言がされたと聞いています。また、市長公約に新図書館建設ということがあったと思います。10万人都市にふさわしい図書館を中心とした文化施設について、この10年間に具体的な計画を進めてください。【すいとびあ江南】

(問) 図書館は、本の貸し借りだけでなく、文化の拠点であったり、情報の発信であったり、居場所であったりと、求められている役割はとても大きいと思っています。

新図書館に関しては、白紙と聞いていますが、中長期的な計画を示してもらえれば、どういった関わり方をすればいいのかわかるので、計画を今後示してほしいと思います。【古知野西公民館】

(答) 現在のところ建替えについては、白紙ということで、具体的な計画はございません。しかし、新しい図書館を建設するのか、あるいは分館方式でいくのか、江南市にとっての図書館のスタイルについては、検討しています。市長のマニフェストにも、以前の図書館の基本計画を作り直さなければいけないということを書いています。デジタル化など新しいものについて検討して、現代風書き直さなければいけないと考えています。第6次総合計画の市長の戦略政策では、柱2の中で「図書館機能の充実」と明記していますので、財政的な問題もありますが、基金などを最大限活用し、公共施設の再配置計画や布袋駅東の開発などと整合性を図りながら、図書館機能の充実を進

めていきたいと考えています。

### 【Ⅲ しごとづくり分野】

#### ○柱1 地域の雇用を支える産業の育成支援について

(問) 行政の使命に、「商店街の活性化に対する支援等を積極的に推進する」とありますが、自分で活性化をしたいという人が手を挙げて、初めて市が積極的に動くように感じました。市が活性化を進め、協力を募るような政策をするという考えは持っていますか。

【すいとびあ江南】

(答) 商店街は、全国的に空洞化が進んでいる現状です。江南市の商店街の方々に、商店街の活性化を図るため、今後どのようなことを必要としているのか伺い、整理して進めていきたいと考えています。

#### ○柱2 農業の安定経営と農業施設管理について

(問) 農業と太陽光発電を同時にやってもいいということを農水省が許可し、そうした取り組みが増加しています。耕作放棄地をもっと活用し、農業で採算が合うようにして、農業者を増やす工夫をしてほしいと思います。計画案では、現在は農業の専従者が30人となっており、10年後も30人の見込みになっていますので、積極的に農業を位置付けていないように感じます。太陽光発電をもっと促したり、大学とタイアップして新しい作物を作るなど、農業がいきいきできる環境整備をしてほしいと思います。

【市民文化会館(8/3)】

(答) 近年では売電単価が低下していますので、耕作放棄地を含め農地に太陽光発電設備を設置し、転用される方は減少傾向あります。

総合計画に掲載している農業者は一定の要件を持った認定農業者のことで、高齢化により減少傾向ですが、目標は現状維持としています。農地に関する規制緩和により、株式会社が農業をすることも認められるようになりました。市ではJAと協力しながら、こうした企業を含めた新規就農者の育成に取り組んでおり、農業の採算が合うようにするためにも農地の集約化を図りながら、耕作放棄地を増やさない取り組みをしています。

また、新たな作物といたしまして、JAが酒米の生産者組合を組織し、当地限定の酒を造る取り組みをしています。

### 【Ⅳ ちいきづくり分野】

#### ○柱1 安心・安全な地域づくりの推進について

(問) 江南市に水害があった際、まず市長、副市長などが市役所に駆けつけて体制づくり

をされると思いますが、市長や副市長を迎えに行く職員が、四輪駆動の車で駆けつけるということを考えていますか。【古知野西公民館】

(答) 標準的な場合ですと、危機管理室長、都市整備部長、消防長が警戒態勢ということで大雨注意報の段階から雨の状況を見ながら、現地調査をします。消防団や警察の方々も巡視に協力いただいています。大雨や暴風、洪水警報が出た場合など、必要に応じて市長が本部長、副市長が副本部長とする災害対策本部を設置して被害の対応にあたります。

現場対応は、土木課、地元の消防団、警察などが、冠水の多い所においては事前にパトロールをし、必要な措置をとります。また、四輪駆動の車については、市で巡視の際に対応ができる車両を検討していきたいと思います。

### ○柱2 市民の安心を守る消防・救急体制の充実について

(問) 現在消防署は本署と東分署がありますが、北分署設置の計画を目標に入れてほしいと考えています。高齢化が進むと救急や火災の出動が増えると思いますので、より早く対応してもらえるように計画の中に入れてほしいと思います。【宮田学供】

(答) 以前から北分署のご要望はいただいています。その前に消防救急無線のデジタル化ということで小牧市に尾張中北消防指令センターを開設いたしました。国は広域化や連携も1つの対応策だと言っていますし、北分署の重要性は認識していますが、現在公共施設の再配置の計画をしていますので、その進行状況も見ながら検討していきたいと考えています。

### ○柱3 地域に住み続けられる支援の推進について

(意見) 高齢者の病気として認知症が話題になっており、早く見つけられれば進行を遅らせることができます。江南市に物忘れ外来はないので、一宮市までバスを乗り継いで通院する人もいます。国は認知症サポート医を1万人増やそうとしていますし、これから増えていく病気のため、江南市に早くもの忘れ外来を作ってください。【市民文化会館（7/30）】

(答) 要望として承ります。(※診療科として公表されていませんが、江南厚生病院と佐藤病院内にももの忘れ外来が設置されています。また、早期診断・早期対応の体制整備として、平成30年4月に「認知症初期集中支援チーム」を設置し、医療・介護の専門職チームが本人やご家族への支援を行う予定です。)

### ○柱5 誰もが活躍できる健康な生活の確保について

(問) 先日、自治体の取り組みにより健康寿命の差が出ているのではないかと、という記事が掲載されていた。私は、江南市が全国で健康寿命で一番のまちになってもらいたいと思っていますが、どのような位置付けを目指しているのかお聞きしたいと思います。

【すいとぴあ江南】

- (答) 市では健康づくりのため、こうなん健康マイレージ事業などに取り組んでいます。高齢者の方が増加していますので、高齢者の健康づくりを重点に推進しています。健康長寿日本一を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

【V 行政分野】

○柱3 地域協働の推進について

- (問) 市民協働というテーマは以前から主役は市民であると捉えています、推進するには各団体の相互間交流による悩みに対しての情報共有をしていくことが大切です。

江南市はボランティアガイドとして名簿は作っているのですが、相互で活気づかせていくような企画がありません。協働の活動を推進していくにはたくさんある団体の相互交流が必要です。コミュネット江南という団体を作っており、このような目標に向かって活動を始めていますので、もっと行政全体で、力をプラスになるよう話し合いの場を作り、交流会を企画してほしいと思ひます。お考えがあるようでしたら、お聞きしたいと思ひます。【市民文化会館（7/30）】

- (答) 現在、総合計画の中では協働の活動が少しでもしっかりできるよう、市役所から活動をされている方へ活動の橋渡しを進めており、具体的な検討を始めています。今後もしっかり取り組んでいきたいと思ひます。

- (問) 江南市ではいろいろな団体が特色を持って活動し、それぞれが江南ブランドを盛り上げようと頑張っています。スポーツ面では、総合型スポーツクラブ江南というものも立ち上がり、スポーツのことも一生懸命やっています。情報は自分で取りに行くよう、広報をしっかり読んで自分ができることをやっていくべきと思ひますが、市の考えをお聞きしたいと思ひます。【市民文化会館（7/30）】

- (答) 情報提供の視点でお話しをしますと、広報だけでなく、若い世代の方はスマートフォンの保有率も高くなってきました。ホームページ、ツイッター、フェイスブックなど、スマートフォン、タブレット、パソコンで市のイベントが見られるよう情報提供しています。昨年度からホームページ上の右の角にイベントスケジュール表を表示するように工夫するなど、より多くの情報をご覧いただけるよう取り組みを進めています。

- (問) 市民協働を強く推進していますが、分野Vの柱3「地域協働の推進」には、市民も頑張り、江南市と一緒に盛り上げていく話はなく、行政の使命など行政のことしか書かれていません。市民と一緒に話をして分野別計画を作ったと聞いていたので両方も書いてあればよかったですと思ひました。

住民自治の確立について書かれていますが、市は協働により江南市を盛り上げていくために、住民自治としてどのようなことをイメージしているのかお聞きしたいと思います。【宮田学供】

(答) 地域協働とこれからの住民自治について、小規模多機能自治区という、各地域で行政の仕事を本格的に行うことが先進的な考え方ですが、全国でもまだ少ない事例です。また、地域協働に一生懸命に取り組んでいる団体の中で、予算から支出までの一連の運営ができないか具体的な検討に入っています。初期の考え方なので詳細には申し上げられませんが、今後検討を進めていきたいという方針をもっています。

#### ○柱5 計画的な行政経営の推進について

(問) 第6次総合計画(案)について、わりとあるべきすがたがみえてきたと思っています。各分野の計画を実行した場合、平成39年度の歳出金額に照らし合わせて収まるのかという不安があります。実行性がないと絵に描いた餅になってしまうので、しっかりと計画を組んでPDCAを回すようお願いいたします。【宮田学供】

(答) 毎年度の実際に行う事業は、政策部門と財政部門と調整して編成していきます。計画に掲載しています、あるべきすがたの実現のための事業についても、優先度が出てきますので、収支のバランスが取れるよう編成したいと思います。

(問) 各分野の方があるべきすがたを提示していただいたが、平成39年度の歳入の280億円で本当にできるのかということをお聞きしたいと思います。【宮田学供】

(答) 税収は減っていきます。歳出の中では特に扶助費が増えています。様々な工夫を考えて、事業を行うだけでなく事業を減らすためにどうするか、また行政としていかに効率的に、そして極端にいうと10年、20年前は必要だったものが今は必要なのかどうか、市民の皆さんとしっかりと話し合います。行政事業レビューもそういった活動の1つです。市長とのタウンミーティングの中でも、市民の皆さんと一緒に議論を進めながら、これらの目標を実現するために計画を推進していきたいと思っています。

(問) 限られた予算の中で返済がこれだけ多いと基本計画の実現ができるのか疑問です。市のバランスシートを考えた時、新体育館の運用面でPFIなどを考えていくことも財政を立て直す上での方針だと思います。総合計画について、全体的に考えると予算がないのにこれだけできるのかという不安が一番大きいと感じています。借金の返済が増える一方で、税収は減る一方です。果たしてできるのですか。【宮田学供】

(答) 江南市の現状において、赤字があり借金があるというイメージを皆さんお持ちですが、実際は、過去の経緯から言って、できるだけ借金をしないで進めてきたため、いわゆる実質公債費比率、借金の比率については、全国のランキングでは上位になっています。また、江南市はできるだけ施設の建設は控えてきました。施設が一斉に悪く

なっていますが、ただ建て直すのではなく、公共施設の再配置ということで、統合や廃止などを検討して財政をしっかりとみていく必要があります。P F I も常に考えています。本当にP F I でいいのかという考えもあり、両方合わせもった考え方のもとで、施設毎に応じて検討していきたいと考えています。

○柱6 公平かつ適正な課税・収納について

(問) 江南市の税金は高いのですか。また滞納の状況についてお聞きしたいと思います。

【市民文化会館(8/3)】

(答) 市税の税率には制限税率があり、条例の定めにより超過課税をすることは可能ですが、江南市は法人市民税を除き標準税率で課税していますので、近隣各市と比較して税金が高いということはありません。税の滞納については、ホームページでお知らせしています。

江南市ホームページ ⇒ 行政情報 ⇒ 財政関係資料 ⇒ 財政公表 ⇒ 平成28年10月1日から平成29年3月31日までの財政状況(12ページ)。